

第9回防水シンポジウム

「建築防水分野における新たな取り組み」

雨水・地下水を建築物に入れないための防水技術は、建築において最も基本となるものであり、建築物への要求性能や材料・工法の発展と連動して進化するものである。昨今では、長寿命建築物への要求や環境問題から防水を取り巻く状況の変化が著しく、高耐久性、品質の確保、施工性の向上、維持管理、省エネルギー対策などが喫緊の課題となっている。

このような現状認識に立ち、今回第9回目となる防水シンポジウムでは、防水工事運営委員会傘下の最新の委員会活動成果の中から7つのテーマについてその活動内容を公開し、活発な意見交換から得られた要望・意見を今後の学会委員会活動に反映することを目的とし開催するものである。

今後の防水分野に関わる学術活動に少しでも活かせることになれば幸いである。

主催: 日本建築学会 材料施工委員会 防水工事運営委員会

日時: 2017年10月4日(水)10:00~17:00

会場: 建築会館ホール(東京都港区芝 5-26-20)

<プログラム>

主旨説明	山田人司(防水工事運営委員会主査/日本建築総合試験所)	10:00~10:05
(1) シーリング材の耐疲労性、接着性評価の最新動向と寿命予測	宮内博之(建築研究所)、小野正(マサル)、山下浩平(カネカ)、八田泰志(セメダイン)	10:05~10:55
(2) ファサードデザインを支える構造シーラント	松尾隆士(清水建設)、岩崎功(信越化学工業)、石井久史(LIXIL)	10:55~11:35
	< 質疑応答 >	11:35~11:45
	< 休憩 >	11:45~12:45
(3) JASS8 のあり方と次期改定の方向性	岡本肇(竹中工務店)	12:45~13:25
(4) 豪雨多発時代の屋上排水	竹本喜昭(清水建設)、金崎俊造(鹿島建設)、石川文和(カネソウ)	13:25~14:15
(5) わが国における防水コンサルタントの職能とありかた	田中享二(東京工業大学)、宮内博之(建築研究所)、山宮輝夫(大成建設)、堀長生(住ベシート防水)	14:15~15:05
	< 休憩 >	15:05~15:20
(6) ウレタン系塗膜防水層における美観上のふくれの認識評価	石原沙織(千葉工業大学)、古澤洋祐(AGC ポリマー建材)	15:20~16:00
(7) 塗膜厚さを基としたウレタン防水層の仕様書と施工	山宮輝夫(大成建設)、竹本喜昭(清水建設)、渡辺光(レオン工業)	16:00~16:40
	< 質疑応答 >	16:40~17:00
司会	梶田秀幸(前田建設工業)、古賀純子(国土技術政策総合研究所)	

※質疑はテーマごとにも行う

定員: 150名(申込み先着順)

参加費: 会員 3,000円、会員外 4,000円、学生 2,000円(資料代含む/当日お支払いください)

申込方法: Web 申し込み <http://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=602765> よりお申し込みください。

問合せ: 日本建築学会事務局 事業グループ 榎本

TEL:03-3456-2051 E-mail: enomoto@aij.or.jp